

御油小「校長室より」1学期学校の風景2



【退任式 4月15日】

この3月末で退職や転勤をされた10名の先生方とのお別れの会を行いました。事情で3名の先生はご欠席されましたが、7名の先生方に参加していただきました。先生方のお話の後に、代表の子がみんなからのお手紙や花束を渡しました。

最後は、全員で花道を作り、御油小学校の歌ともいえる「絆」を何度も歌いながら、見送りをしました。悲しくて泣いている子、涙をこらえて握手をする子、がんばって笑顔を作ってハイタッチする子など、いろいろな御油っ子の姿を見ることができました。この1コマをとっても、御油小学校がいかに温かい学校であるかを感じ取ることができました。先生たちとの思い出を胸に、御油っ子はこれからもがんばっていきます。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。



最後まで先生方にいろいろ教えていただきました。「失敗は成功のもと」失敗したら、何度でもやり直せばいいんです。



お世話になった先生にお手紙と花束を渡しました。涙をこらえて、笑顔で送ろうとがんばっていました。



一緒に歌う最後の校歌になりました。いつもより大きな声が出でおり、心がこもっている気がしました。



見送る子どもたちと見送られる先生方の間に、目に見えない絆のようなものを感じ取ることができました。

【地震が起きた時には 4月18日】

今年度のはじめての避難訓練を行いました。キーワードは、「ダンゴムシポーズ」です。まずは、何よりも「頭を守ること」を第一に考えることを徹底していきます。

訓練に対する上級生の取り組みはすばらしいものがありました。そんな上級生の姿をお手本にしながら、下級生たちも真剣に訓練に取り組んでいました。地震はいつ起きるかわかりません。訓練であっても本番と同じように行動することが大切です。本当に起きたときに備えて、子どもたちに宿題が出してあります。それは、「もしも、地震が起きて家族がバラバラになった時に、どこに集まるかという集合場所を決めておいてください」というものです。多くの子がすでに決めてあるということでしたので、その確認を今一度しておいてください。学校では今年度も、地震のシェイクアウト訓練や火事、不審者対応などの訓練を毎月実施していきます。



みんな上手にダンゴムシポーズがとれました。

【5年生 松の種まき 4月22日】

今年度も松並木愛護会の方々が5年生の児童に、伝統の松の種まきの仕方を教えてくださいました。松の種が松ぼっくりのどこにあるのか、種にはプロペラがついていることなど、植える前にいろいろなことを教えてもらいました。

実際の種まきは、通常よりも長いポットで行います。性質の違う2種類の土を重ねて入れてから、小さな種をそっと入れていきます。この苗は1年が過ぎて10センチくらいになったら、図工室の前の花壇に移植されます。そしてまた1年たったら、松並木公園の隅にある「松を育成する場所」に移植されます。その後、3年ほどした後に、6年生児童により松並木に植樹され、天然記念物の仲間入りとなります。

御油小学校は、ずっと前からこの一連の松の育成に関わらせていただいています。今日、5年生が撒いた種は、みんなが高校生になるころ、御油小の後輩たちが松並木に植樹することになります。御油と言えば松並木。御油っ子の自慢の場所です。この伝統をいつまでも伝えていってほしいと思います。



松の種について詳しく教えていただきました。



小さな種を慎重にポットに植えていきます。